

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）

少子化により子どもの数が減少する中、市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するため、通学区域の変更や学校の統合などにより、小中学校の適正な規模の確保に努めるように検討を進めています。

検討にあたり保護者の方を対象にアンケートを実施しましたので、集計結果をご報告します。



◆アンケート概要

実施期間	令和7年5月19日（月）から6月6日（金）まで	
対象校	中学校5校、小学校12校 ① 坂下中学校区（坂下中、坂下小、西尾小、神屋小） ② 藤山台中学校区（藤山台中、藤山台小） ③ 高森台中学校区（高森台中、高森台小、中央台小、東高森台小） ④ 石尾台中学校区（石尾台中、玉川小、石尾台小、押沢台小） ⑤ 岩成台中学校区（岩成台中、岩成台小、岩成台西小）	
対象者	対象校に通っている児童生徒の保護者	対象中学校区内の公私立保育園、私立幼稚園の園児のうち、対象の小学校に通学する予定の園児の保護者
実施手法	学校から保護者への連絡システム「Home&School」から回答	各園から保護者への連絡システム又はQRコード付きチラシから回答
児童生徒数	4,035人	—
Home&School通知数	4,992人	—
回答数	2,127人	472人
回答率	42.6%	—

◆報告書に使用されている略語の説明

- ・「就学」は、対象校に通っている児童生徒の保護者の回答
- ・「未就学」は、対象中学校区内の公私立保育園、私立幼稚園の園児のうち、対象の小学校に通学する予定の園児の保護者の回答

◆各学校別回答状況

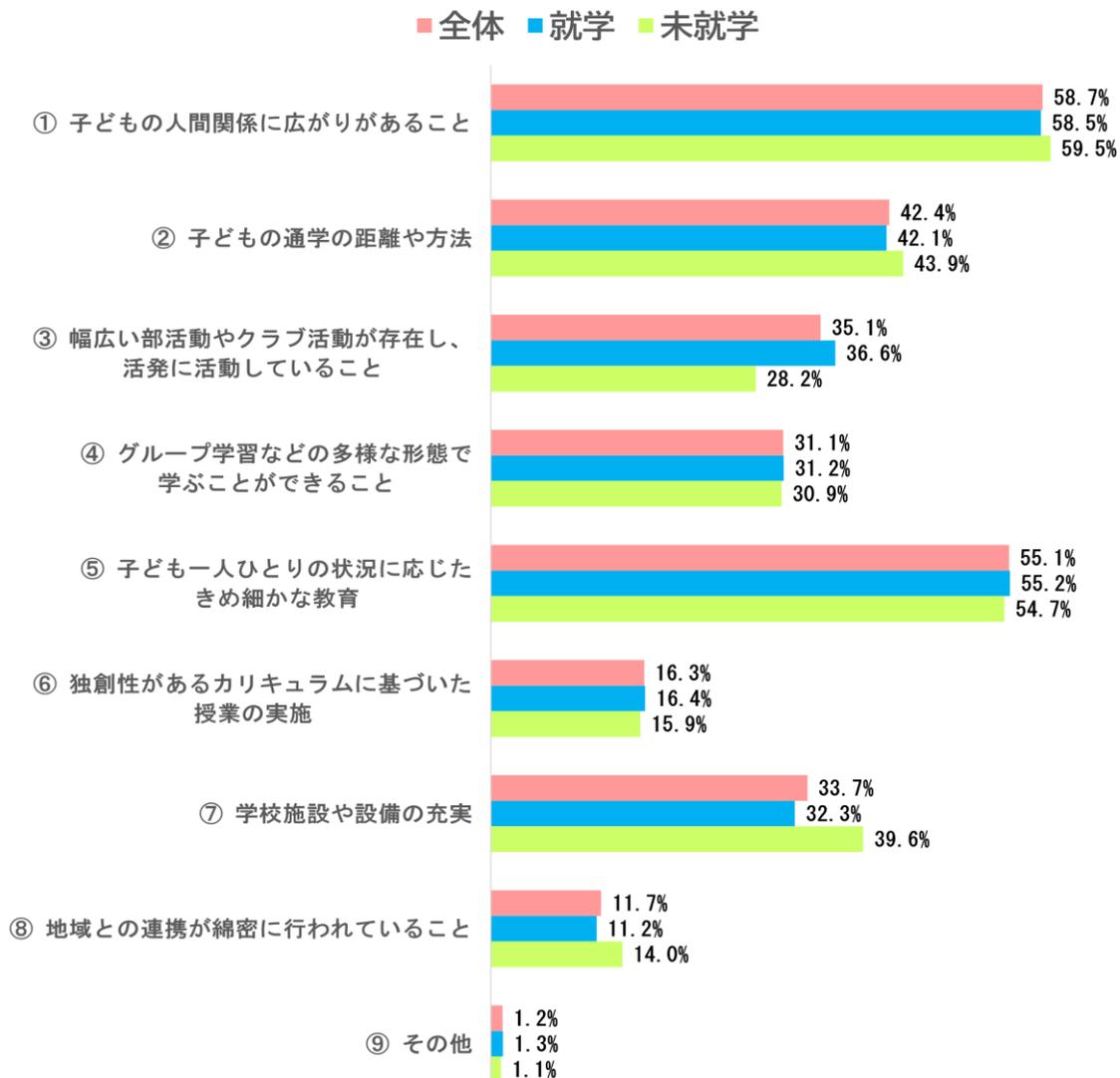
学校名	児童生徒数	①Home&School 通知数	回答数			回答率 ②/①
			②就学	未就学	計	
坂下中	354	366	158	—	158	43.2%
坂下小	432	593	248	73	321	41.8%
西尾小	60	82	33	16	49	40.2%
神屋小	167	192	104	47	151	54.2%
藤山台中	198	192	102	—	102	53.1%
藤山台小	337	381	127	53	180	33.3%
高森台中	307	378	133	—	133	35.2%
高森台小	229	318	125	42	167	39.3%
中央台小	156	208	101	20	121	48.6%
東高森台小	130	134	91	18	109	67.9%
石尾台中	343	431	200	—	200	46.4%
玉川小	204	217	122	26	148	56.2%
石尾台小	164	243	103	34	137	42.4%
押沢台小	193	270	94	38	132	34.8%
岩成台中	242	288	152	—	152	52.8%
岩成台小	210	301	118	45	163	39.2%
岩成台西小	309	398	116	60	176	29.1%
合計	4,035	4,992	2,127	472	2,599	42.6%

子どもたちにとって、魅力ある学校づくりを進めるために重要と思うことについて、次の項目から選択してください。(3 つまで)

●回答結果の概要

「① 子どもの人間関係に広がりがあること」、「⑤ 子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育」、「② 子どもの通学の距離や方法」が多く選ばれています。

学校別に見ると、「① 子どもの人間関係に広がりがあること」は、17 校中の 12 校で最も多く選ばれており、「⑤ 子ども一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育」は、17 校中の 5 校で最も多く選ばれています。



「⑨ その他」の主な回答

◆就学児

- ・学校が安心して通える場所であること。
- ・子どもたちが子どもたちで考え、選び、楽しい行きたいと思う学校づくり。
- ・先生が健康に働けること。
- ・先生と親との情報交換、連携。
- ・不登校児への支援の充実。段階的にきめ細やかな支援。

◆未就学児

- ・時代に合った授業内容または方法。
- ・防犯体制が充実していること。

1学年当たりの学級数は何学級が望ましいと思いますか。次の項目から選択してください。(1つ)

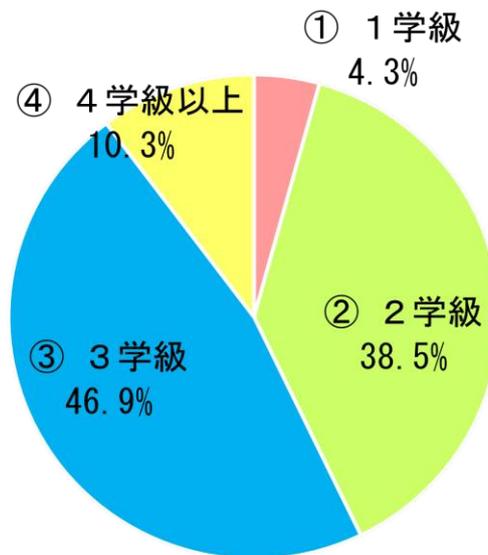
●回答結果の概要

中学校では、5校全てにおいて「③ 3学級」を選んだ方が最も多いです。

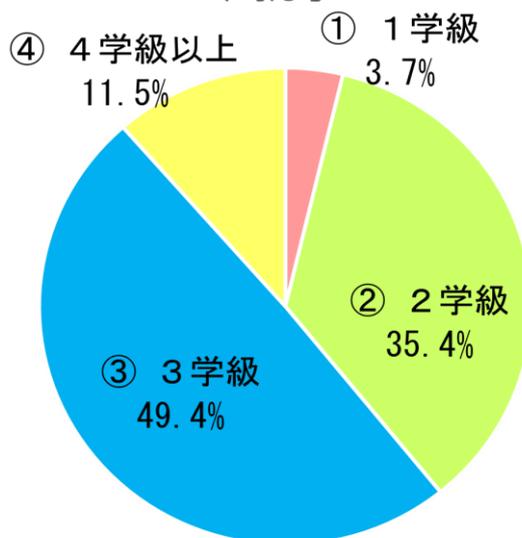
小学校では、12校中の10校は「② 2学級」を、他の2校は「③ 3学級」を選んだ方が最も多いです。

「① 1学級」を希望する方の割合が多い学校は、西尾小 (26.5%)、東高森台小 (21.1%)、押沢台小 (10.6%)、石尾台小 (10.2%)、中央台小 (9.1%) です。

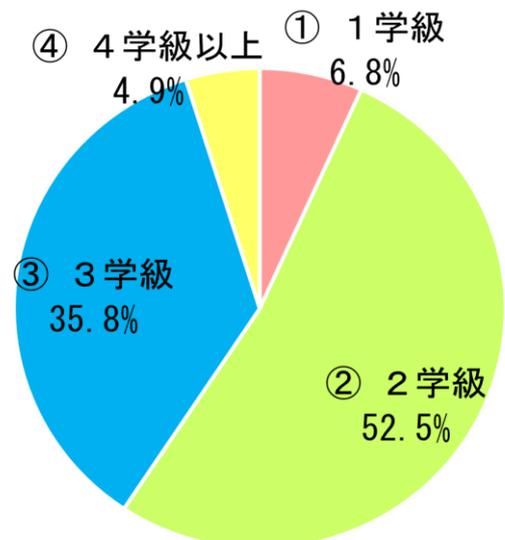
◆全体



◆就学



◆未就学



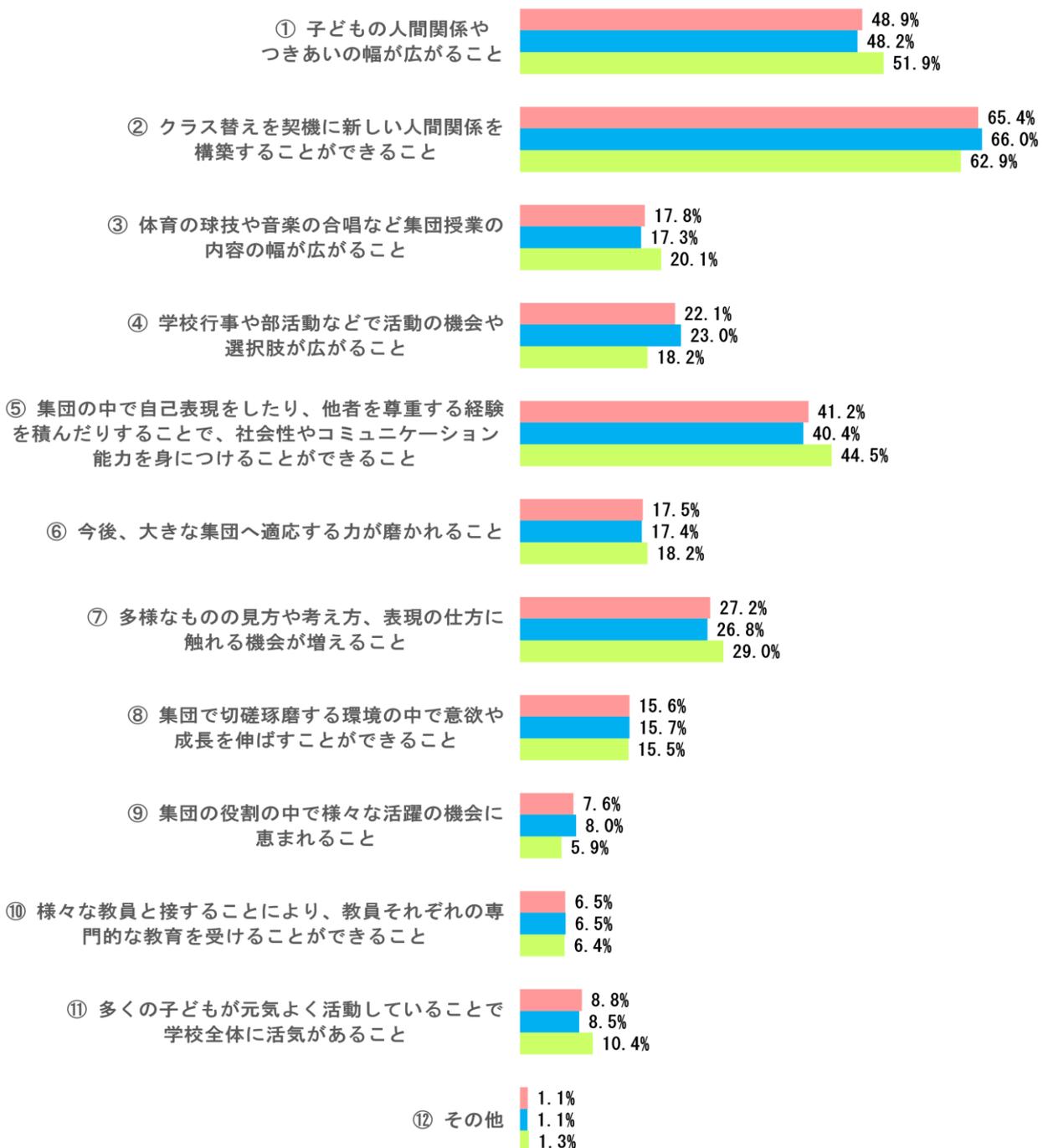
各学年の学級数が多い学校の「よい」と感じることにについて、次の項目から選択してください。
(3つまで)

●回答結果の概要

全ての学校において、「② クラス替えを契機に新しい人間関係を構築することができること」、「① 子どもの人間関係やつきあいの幅が広がること」、「⑤ 集団の中で自己表現をしたり、他者を尊重する経験を積んだりすることで、社会性やコミュニケーション能力を身につけることができること」が、上位3番目までに選ばれています。

西尾小を除く16校は「② クラス替えを契機に新しい人間関係を構築することができること」が最も多く選ばれており、西尾小は「⑤ 集団の中で自己表現をしたり、他者を尊重する経験を積んだりすることで、社会性やコミュニケーション能力を身につけることができること」が最も多く選ばれています。

■ 全体 ■ 就学 ■ 未就学



3 「⑫ その他」の主な回答

◆就学児

- ・1クラスの子供の人数にゆとりを持つことで、担任が一人一人に目が行き届きやすくなること。
- ・どうしても合わない子と離れるきっかけになると思います。
- ・人間関係で問題が起き、不登校になる可能性などがでた場合、学年が上がる際にクラス替えがあると不登校を防ぐ事ができる可能性がある。
- ・学級数が多い学校に魅力を感じないため、よいところはない。
- ・少ないほうが、個々にきめ細かい指導をして頂けると考えます。

◆未就学児

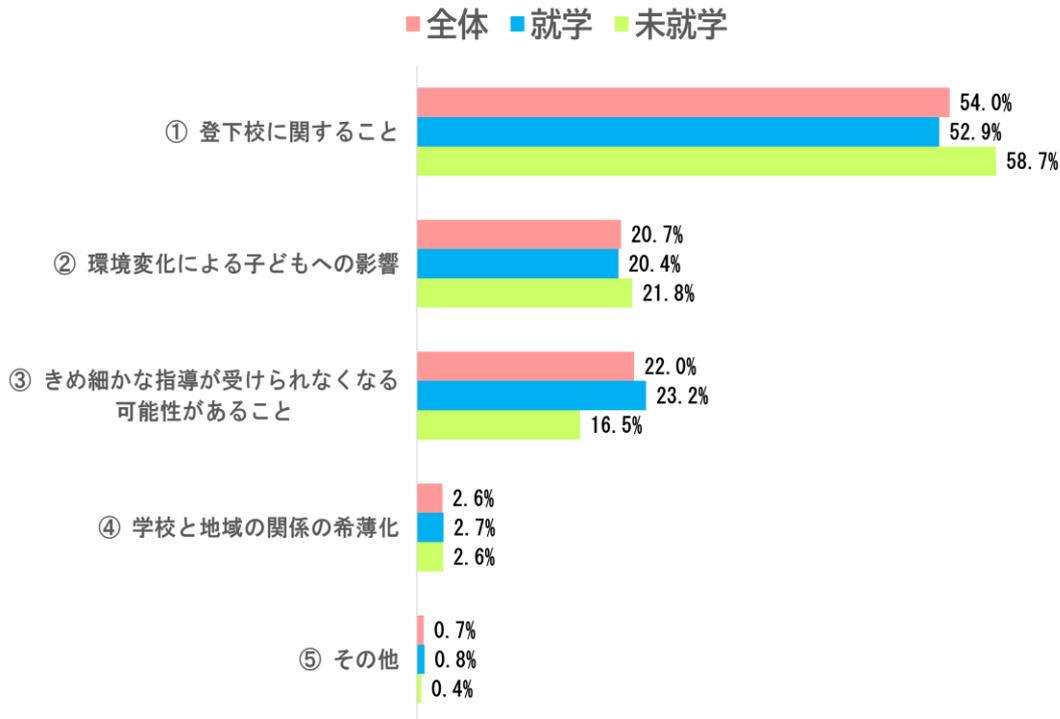
- ・1クラスの生徒人数を減らし、学級数を増やす事で先生が一人一人の生徒に目を向けてもらいやすくなるため。
- ・教員1人に対する児童数を少なくすることで教員の目が届く教育となること。
- ・少ない人数にして子供一人ひとりの学習を見てほしい。

4

魅力ある学校づくりのために、学校の規模や配置を見直す場合、心配なことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

全ての学校において、「① 登下校に関すること」が最も多く選ばれています。特に、玉川小では7割以上の方が①を選んでおり、その他の学校では約半数の方が選んでいます。



「⑤ その他」の主な回答

◆就学児

- ・心配なことはない。
- ・統合されることで、教職員が増えて、結果、きめ細やかな教育につながるようになるだろうか？大事なのは、教員一人あたりが、面倒を見る人数ではないだろうか？
- ・良い意味での人間関係の広がりとは逆のことも起こり得ることが心配。

◆未就学児

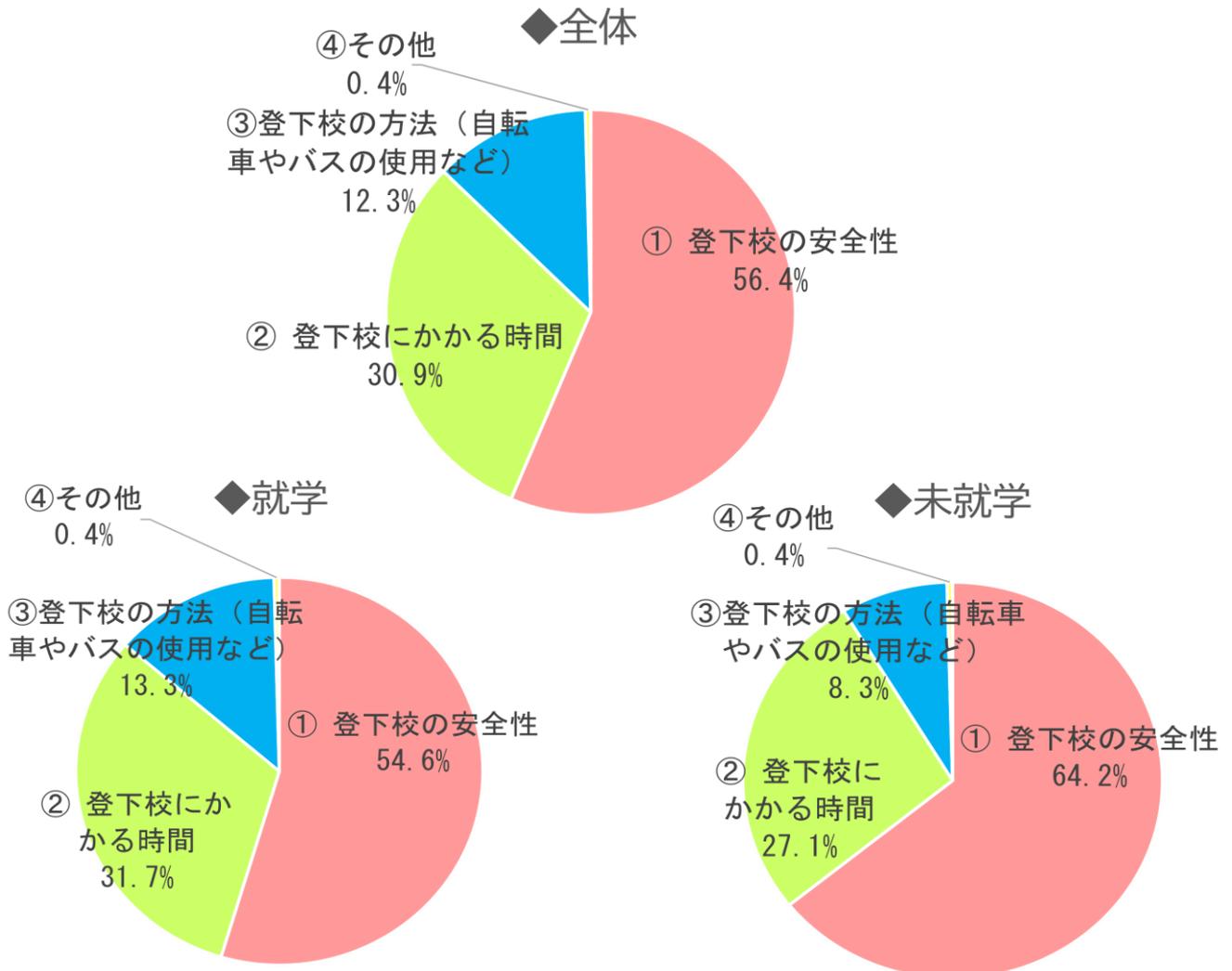
- ・特にありません。

学校の規模や配置を見直す場合、登下校に関して最も重要だと思うことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

岩成台中を除く 16 校は「① 登下校の安全性」、岩成台中は「② 登下校にかかる時間」が最も重要と考えられています。

小学校では、全ての学校で半数以上の方が「① 登下校の安全性」を選んでいきます。



「④ その他」の主な回答

◆就学児

- ・距離が遠くなる場合、安全のためにバス使用が必要。
- ・教員の働き方改革で登校時間が遅くなりました。そのことで朝の登校時の鍵っ子が増えていると聞きます。学校に着いたかわかる方法があると良いのと思います。
- ・保護者の車送迎を OK にしたら良いのでは？近距離でも遠距離でも、防犯面でも酷暑の面でも、子どもが徒歩で登下校する事に不安を感じています。生徒数が少ない学校は通学班が無いので、1人で登下校する子もいて危ないです。駐車場と朝学童も設置して欲しい。

◆未就学

- ・①登下校の安全性、安全性を担保するための方法（適正な徒歩通学の時間にならないのであれば、通学バスの使用）
- ・配置を見直す場合、校区によって条件が違って来る中、この中から、一つ選ぶのに無理がある。このアンケートは洗脳的に統廃合に質問の流れを作っている様に感じ、疑問を感じる。

市は小中学校ともに1学年に2学級以上あることが必要と考えています。この考えに基づき、市内の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて、どう思いますか。(1つ)

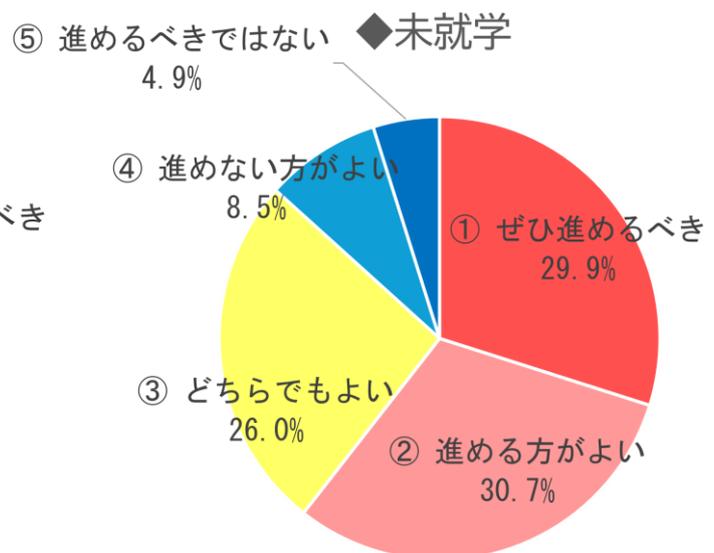
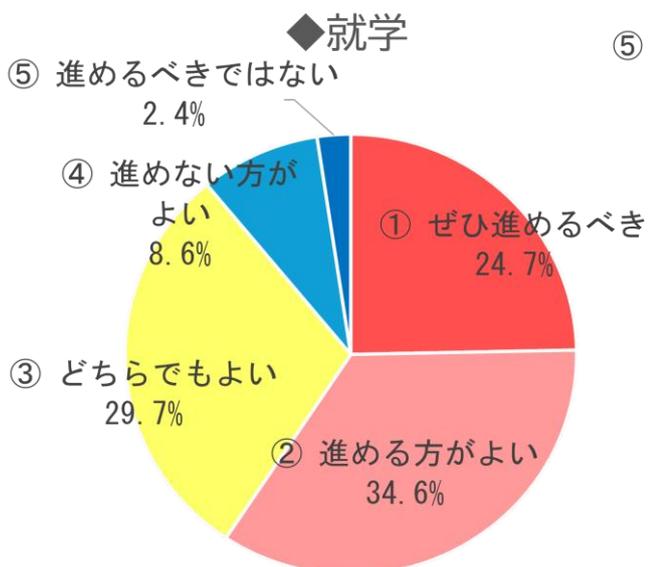
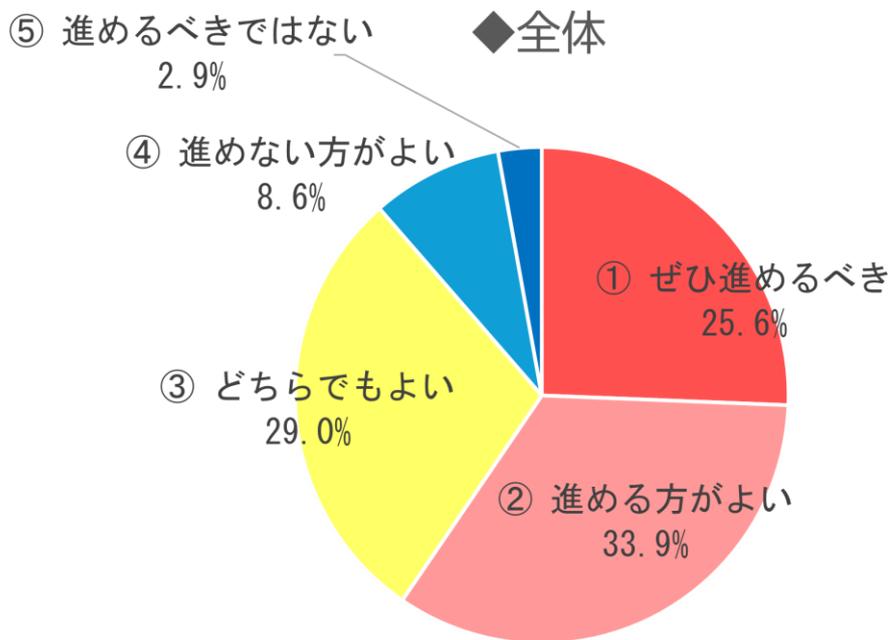
●回答結果の概要

「① ぜひ進めるべき」又は「② 進める方がよい」は約6割の方に選ばれています。

「④ 進めないほうがよい」又は「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方は、約1割となっています。

学校別に見ると、「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」の合計の割合が高い学校は、藤山台中（77.5%）、坂下中（69.6%）、藤山台小（66.6%）、神屋小（64.2%）、坂下小（63.6%）です。

「④ 進めないほうがよい」と「⑤ 進めるべきではない」の合計の割合が高い学校は、東高森台小（28.4%）、押沢台小（25.0%）、西尾小（24.5%）、玉川小（15.5%）、石尾台小（14.6%）です。

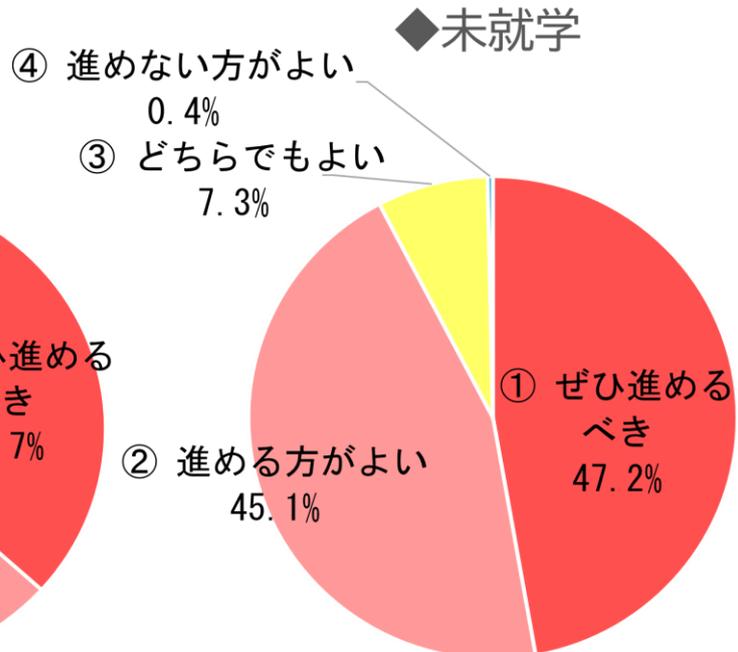
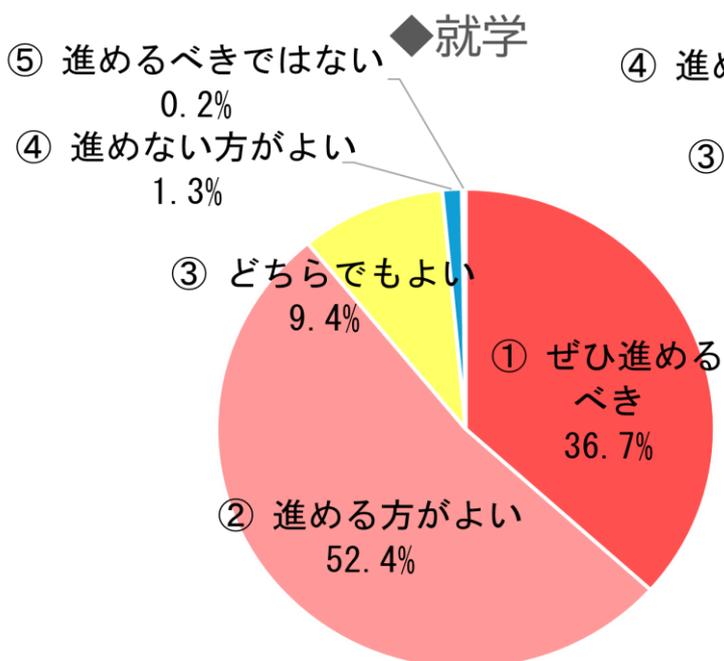
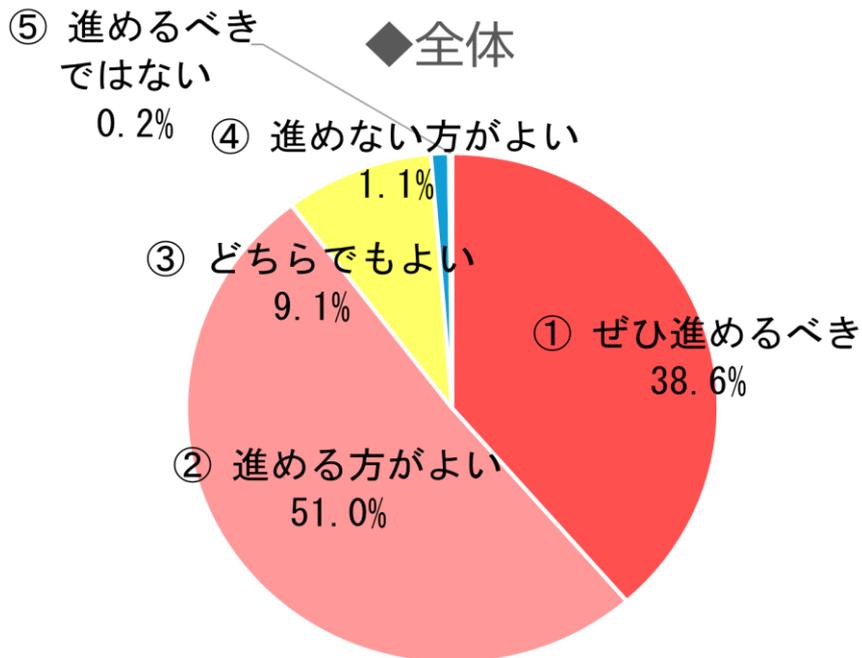


6の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。お子さまが通学する(予定の)学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについてどう思いますか。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で①又は②を選んだ方の約9割が、「お子さまが通学する(予定の)学校においても学校の適正規模や配置について取り組むこと」に賛成しています。

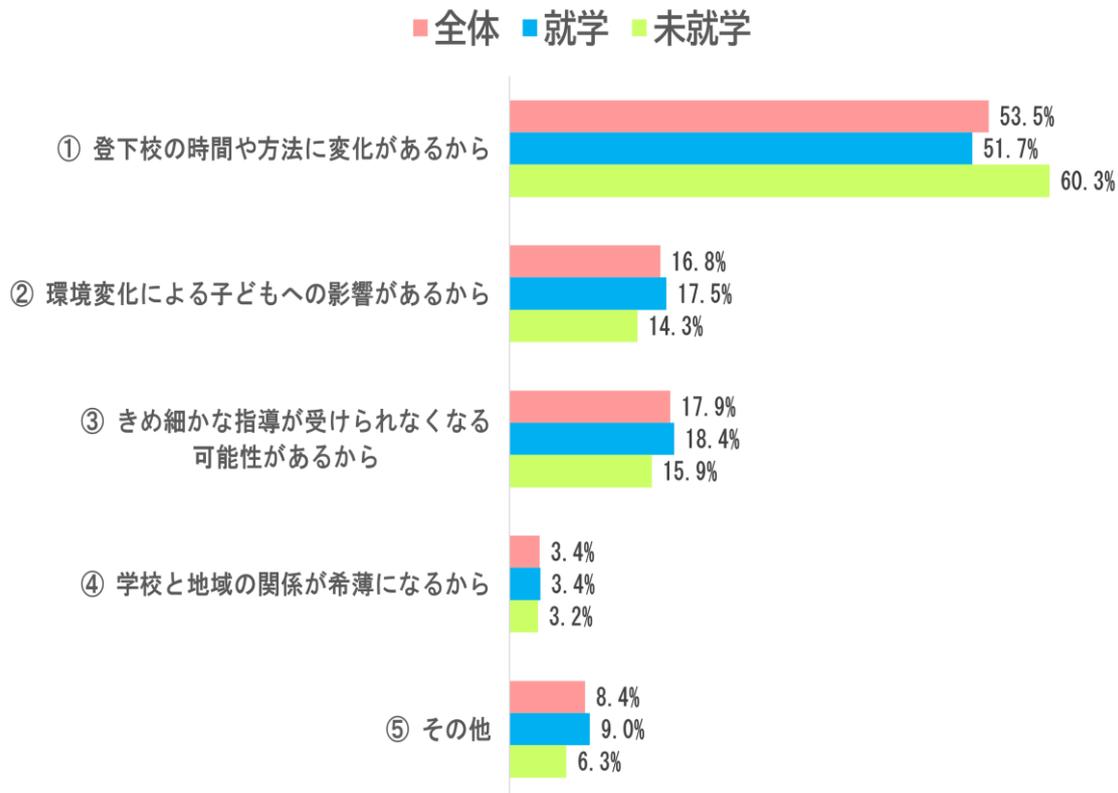
6の質問で①又は②を選んだ1,548人のうち、「④ 進めない方がよい」又は「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方は20人です。



6の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

全ての学校において、「① 登下校の時間や方法に変化があるから」が最も多く選ばれています。



「⑤ その他」の主な回答

◆就学児

- ・2クラスの人数(20×2)と(30×2)では随分と差が出てくると思うし、活躍出来る子は少人数でも活躍し、奥手な子や早生まれは変わらない。人数が増えれば増えるほど、見えない部分や取り残される部分が出てくると思うため、集団を大きくするだけがメリットでは無い様な気もするので。核家族化が進む中も押沢台は地域の方がとても学校を支えて下さっているの、そこは子ども達が成長する中でとても大切だと思っています。
- ・規模は、その学校の特色の一つ、多様な学校があることが、子どもたちの選択肢につながるようになってほしい。
- ・その地域の過疎化が増す。
- ・子育てには地域の大人が参加すべきだと思うから。
- ・小さい学校ならではの良さもたくさんある。先生と生徒の距離が近かったり、クラス替えが無いことで子どもたちの団結力も強まるなど良い点もあると思うから。
- ・治安の悪い学校との統合になってしまった場合、子供の成長が悪い方向にいく可能性を排除したいため。
- ・少子化がさらに進んだ場合に、さらなる学校の統廃合を進めることは困難であるため、小規模学校の良さを見出して運営してほしい。

◆未就学児

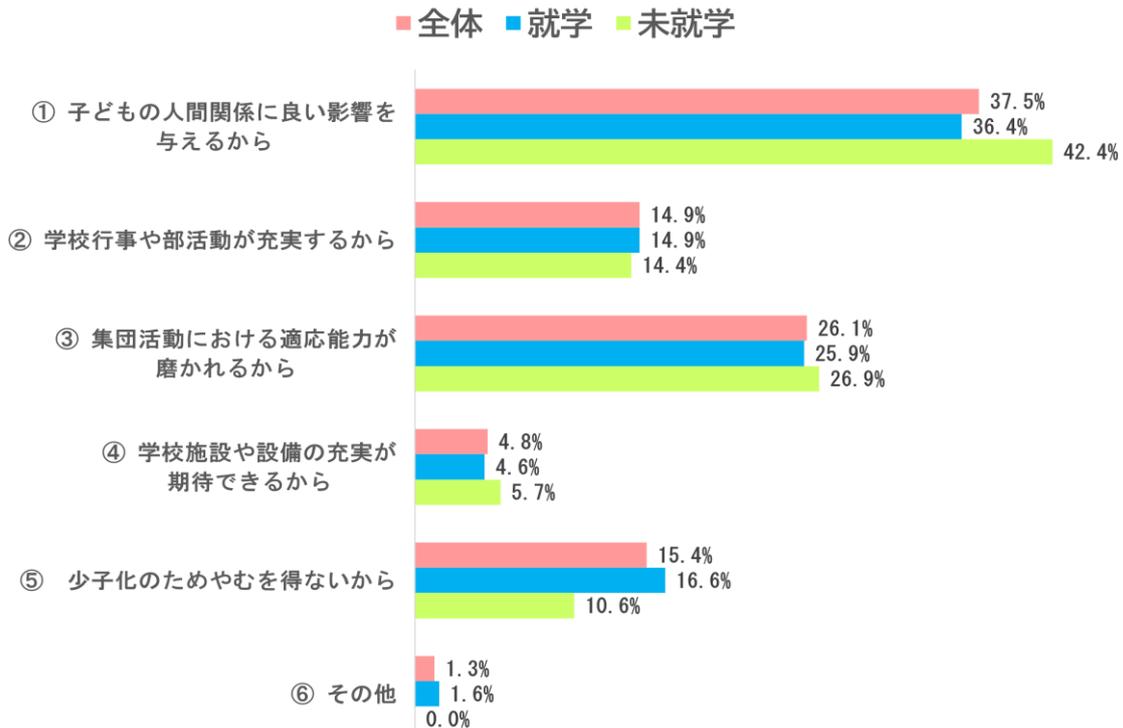
- ・小さい学校ならではの、先生と生徒の距離の近さ、地域の方たちとの関わりが密にあるなど良い点がたくさんあるから。
- ・通学路の安全性がかなり低いと思うので長い距離を通学させたくない。人数が増える事でのイジメ問題。

7-1の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

「① 子どもの人間関係に良い影響を与えるから」、「③ 集団活動における適応能力が磨かれるから」が多く選ばれています。

学校別に見ると、「① 子どもの人間関係に良い影響を与えるから」は、17校中の13校で最も多く選ばれており、「③ 集団活動における適応能力が磨かれるから」は、17校中の4校で最も多く選ばれています。



「⑥ その他」の主な回答

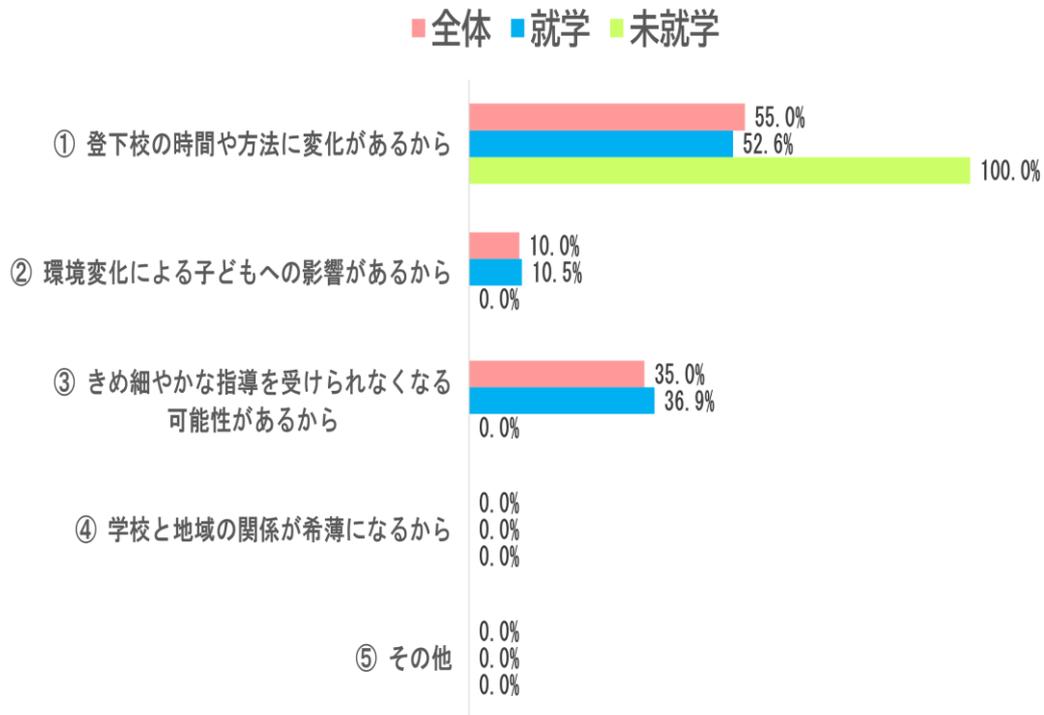
◆就学児

- ・ いじめの被害者などが、クラス替えができない状況があってはならないから。
- ・ 学級数が少なければ、どちらかと言えば閉鎖的な社会で、噂は広まりやすく、一度ついた印象は、生徒にしる、教師にしる、卒業するまでなかなか変わらない。また、その空間が苦痛でも逃げ場がない。母数が多ければ、多少なりともそういったことが緩和されるかなと思うから。
- ・ 集団が大きい方が切磋琢磨できるから。75人中の20番と120人中の20番の違いを子どもがわかっていない。
- ・ 人間関係でトラブルが起きた時に逃げる場ができる。2クラスでも逃げ場を作るには限界があるから。
- ・ 生徒数が少ない=教員数が少ない。しばしばそれを理由に細かな配慮や、トラブルがあった際の現状把握等が疎かであったりするため。保育園では更に少ない保育士の数で出来ているのに解せない。
- ・ 地域の中で子供をどう育てて行くかを考える機会になるよう、市が独断で進めるのではなく、地域の中での小中学生、小中学校の在り方を地域と連携しながら考えていけると良いと考えるため。
- ・ 費用対効果の最適化。

7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

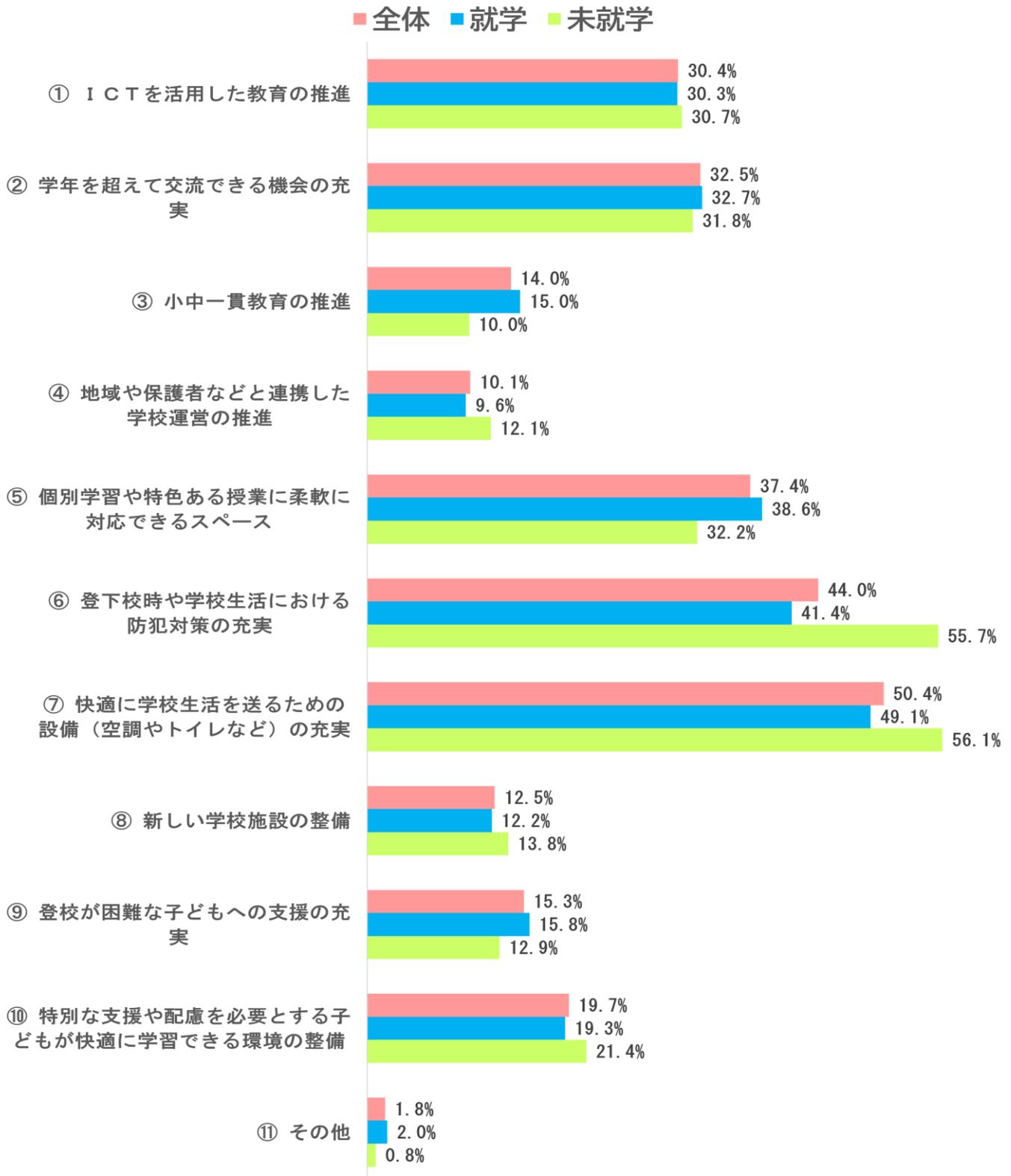
合計 20 人の回答者のうち、11 人が「① 登下校の時間や方法に変化があるから」を選んでいました。



これからの学校教育や学校施設に期待することについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

全ての学校において、「⑦ 快適に学校生活を送るための設備（空調やトイレなど）の充実」は上位2番目までに選ばれています。他に、「⑥ 登下校時や学校生活における防犯対策の充実」、「⑤ 個別学習や特色ある授業に柔軟に対応できるスペース」が多く選ばれています。



9 「⑪ その他」の主な回答

◆就学児

- ・ICT教育と平行して、あえてアナログな体験(実際に目で見ると、耳で聞く、物を作る、本を読むなど)も積極的に学校教育に取り入れていただくことを期待します。そうした体験が減っているように感じるため。
- ・ハードソフト様々な面で多岐にわたる幅広い経験ができること。
- ・海外の方を受け入れて交換留学的なグローバルな教育を期待したい。
- ・教育現場に携わる人の充実、授業も分野に特化した専門的な知識を持つ人に教えてもらったり、教師の質の向上。
- ・教員の労働環境改善、通常授業の品質向上。
- ・自分が子供の頃と比べ、教育の現場においても物凄く過保護だと感じる。メンタルが弱く、思考力が乏しい子供が多い印象。事が起こる前段階で防衛するのではなく、痛い思いや嫌なことがあったとしても、子供自身に体験させたり実施させ、事が起こってから子供に対策を考えさせる柔軟性ある教育は出来ないのか……疑問に感じている。
- ・先生が健康に生き活きと教育に携われる仕組みや環境の整備のため、子どもが多かった昔に出来た仕組みを見直していくことを期待します。
- ・諦めて変更や統合に踏み切るのではなく、人を地域に呼び入れる工夫を考えて欲しい。他の地域とは違った魅力のある地域を目指して行動することに期待している。
- ・働く保護者の子どもの居場所の確保。(朝や夕方、さらに土曜日など。)
- ・同じ市内における学校教育の格差がなくなること。校長始め、教員の能力の底上げ。地域によって差があり過ぎると思うが、生徒は通学校を選択できないので。

◆未就学児

- ・この様な、意見をきいてるようで、聞いてない、アンケートを送ってくる事に不安を感じる。
- ・過小地域であっても、学校全体の教育の雰囲気盛り上げてくださるような先生の配置をしていただきたいです。
- ・教員の労働環境改善、通常授業の品質向上。

アンケートの結果は以上です。

アンケートの結果をもとに、より良い教育環境の実現に向け、保護者や地域、関係者の皆様とともに議論を積み重ねていきたいと考えています。
今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



問い合わせ先

春日井市教育委員会 学校教育課

電話番号：0568-85-6149 FAX：0568-85-0991

Eメール：gakko@city.kasugai.lg.jp